

Welcome
to Izumiotsu

泉大津市 文化遺産スポット

泉大津は
歴史がいっぱい
文化がいっぱい！

ガイドマップ
GUIDE MAP

Cultural Heritage Spot
A Cultural Heritage Tour Woven
by History and Culture



泉大津市 文化遺産スポットマップ

～歴史と文化が織りなす文化遺産巡り～
A tour of cultural heritage sites interwoven with history and culture

Izumiotu City Cultural Heritage Spot Map



安土桃山時代の歴史を今に伝える
Preserving the History of the Azuchi-Momoyama Period Today

7 安楽寺 Anrakuji Temple

開基については明らかになっていませんが、少なくとも安土桃山時代までさかのぼることができる由緒ある寺院です。本尊は阿彌陀如来坐像で、その脇に安置されている木造阿彌陀如来立像は、鎌倉時代の優れた作品として市指定文化財に指定されています。



二基の鳥居が迎えるパワースポット
A Power Spot Welcomed by Two Torii Gates

8 泉穴師神社 Izumianashi Jinja Shrine

この地に1300年以上前から鎮座し、夫婦の神様で天忍穂耳命と杵織千々姫命をおまつりしています。2柱の神様をおまつりするため、拝殿の前に2基の鳥居が横に並んでいるのが特徴的です。このような神社は全国でも数例しかありません。拝殿の奥にある本殿と摂社春日神社、摂社住吉神社の社殿、および神像（神様の姿を現した木造彫刻）は、国の重要文化財に指定されています。ほかにも多くの府や市の指定文化財を保有しており、高い歴史的価値をもつ神社です。



神の使いの鶏に会う
Encounter the Divine Messenger Roosters

1 助松神社 Sukematsu Jinja Shrine

明治7年(1874)の記録によれば、もとは小さな祠であったのを元龜2年(1571)の秋に「田中遠江守が社地を寄附し、村社となった」と記されています。鳥居をくぐると、天然記念物の東天紅(日本で古くから飼われているニワトリ)が出迎えてくれる助松神社。古くから地域の人々が大切におまつりしてきました。おまつりされている祭神は、学問の神である菅原道真と、春日神と呼ばれる四柱(建甕槌命、経津主命、天児屋根命、比売大神)の神様。特に建甕槌命は武運を司る強力な軍神です。



日露戦争の記憶
The Memory of the Russo-Japanese War

3 ロシア兵墓地 Russian Soldiers' Cemetery

明治37年(1904)に起こった日露戦争では、多数のロシア兵が日本の捕虜となりました。泉大津市から高石市にかけての海岸沿いには、浜寺俘虜収容所が設置され3万人を超える捕虜が収容されました。戦争が終わって本国に帰る前に、不幸にも傷病などにより収容所で89名の兵士が亡くなりました。彼らを弔うため、地域住民が共同墓地の一部を提供し、ロシア兵の墓地がつくられました。当時は約850㎡の範囲を柵で囲っていましたが、その後不要となった墓域が区画整理されるなどにより、現在は約550㎡となっています。



かつて鳥の森と呼ばれた
Once Known as the Grove of Crows

5 大津神社 Otsu Jinja Shrine

伝承によれば、鎌倉時代の武士である阿部三郎清忠が、康平7年(1064)に八幡神をおまつりしたのがはじまりであると伝わり、もとは若宮八幡宮と呼ばれていましたが、明治41年(1908)に、近隣の4つの神社(神明神社・事代主神社・宇多神社・粟神社)を合祀し大津神社と改称されました。明治時代末ごろまで神社の周辺にはカラスが多く住む松林が広がり、「鳥の社」と呼ばれていました。開発が進んだ現在も境内は当時の面影を残しています。



神聖なクスノキに囲まれた癒しの杜
A Healing Grove Surrounded by Sacred Camphor Trees

9 泉穴師神社の杜 The Grove of Izumianashi Jinja Shrine

泉穴師神社は、豊かな杜に囲まれています。この杜の特徴は市指定天然記念物に指定されている11本の大きなクスノキです。クスノキは古くから神聖で、厄を払う木とされ、多くの人々に敬われてきました。これは、樹木全体に樟脳を含むため、耐朽性や耐虫害性が高いことが理由の一つです。泉大津市のように都市化が進んだ地域で、これだけの緑を感じられる場所は少なく、「大阪みどりの百選」にも選ばれています。



飛鳥時代から続く祈り
Prayers Continuing from the Asuka Period

2 曽禰神社 Sone Jinja Shrine

神社の周辺には、弥生時代中期に栄えた池上曽根遺跡が広がります。古代にこのあたりを支配した物部氏の一族である二田物部氏の祖先神である饒速日命をおまつりしています。室町時代には、この地を支配した玉井氏の居城として利用されたと伝わり、社殿東側に残る土塁がその名残を伝えます。



平安の祈りが息づく、静寂の地
A Place of Tranquility Where Heian Prayers Reside

4 上品寺 Jobonji Temple

極楽山地蔵院上品寺。上品寺は近隣の集落が共同で利用する墓地(惣墓)のなかにあり、火葬や埋葬、墓所の管理を行う宗教者が暮らしたお堂であったと伝えます。本尊は、平安時代に造られた木造阿彌陀如来坐像(市指定文化財)で、本市で最も古い仏像の一つとして貴重です。



綿花から毛布へ、歴史が息づくまちなみ
From Cotton to Blankets, a Townscape Steeped in History

6 浜街道 Hama Kaido Area

紀州街道の海側、神明町・本町などを通るこの道筋は、江戸時代には内町筋と呼ばれていました。当時の絵図から、道の海側には加子(船頭・漁師)が、山側には百姓や町人らが暮らしていたことがわかります。またこの地域では漁師や百姓の副業として、周辺地域で栽培された綿花から、糸を紡ぎ、真田紐や綿木綿の製織が盛んに行われるようになりました。明治時代になって、その製織技術を活かし毛布の生産が始まりました。この地域は泉大津の毛布産業が始まった地ともいえます。現在は、内町筋を中心とした地域を浜街道と呼んでいます。



平安時代の祈りと共に
With Prayers from the Heian Period

10 穴師薬師寺 Anashiyakushiji Temple

平安時代ごろに泉穴師神社に付属して建立されたお寺です。本尊は薬師如来立像で、その周りを囲むように四天王像(市指定文化財)が安置されています。腕や持物を欠失していますが、平安時代に造られたものです。正平6年(1351)の史料によれば、後村上天皇より綸旨(天皇の意思を伝える書状)が出され、穴師薬師寺が祈禱をおこなうなどしたことが記されており、朝廷との関係が深かったことがわかります。

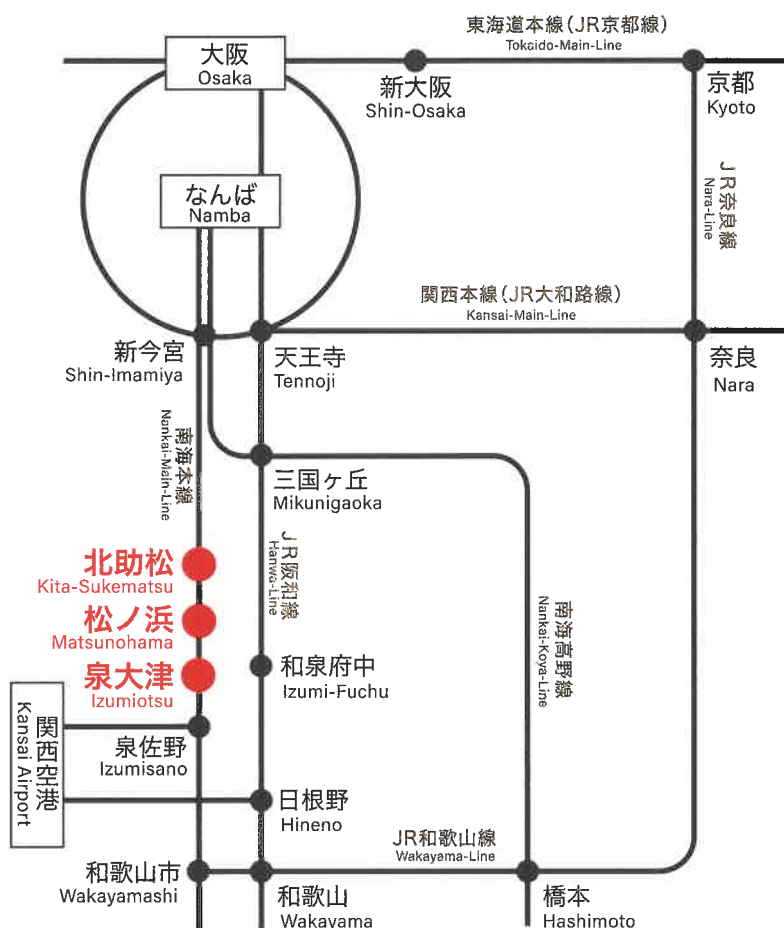


アクセス

泉大津市ってどんなところ?



電車 / by train



大阪府の南部にある泉大津市は、大阪湾に面する歴史ある海のまちです。奈良時代(約1200年前)には港町として栄え、江戸時代(約300年前)には綿織物で栄えました。現在も国内毛布生産の90%を誇る繊維のまちです。



泉大津市関連サイトのご紹介

Osaka Izumiotsu グルメ&観光
泉大津

泉大津観光&グルメサイト

泉大津市内の観光名所やグルメをご紹介します。



HELLO CYCLING



レンタル&シェアサイクル

自転車をレンタルして泉大津市内を散策(市内4ヶ所)。ネット予約が便利です。

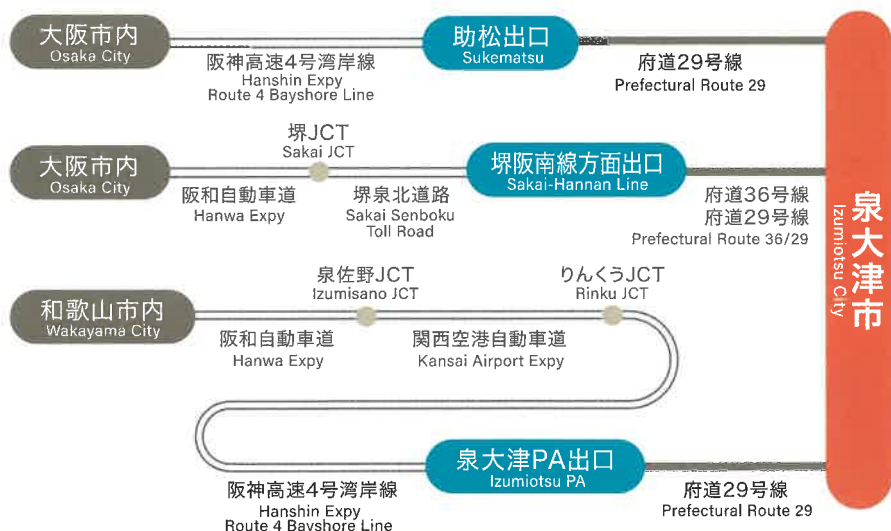


ORIAM digital history

泉大津市の文化財をWebサイトでじっくり探索できます。



車 / by car



発行

泉大津市教育委員会 生涯学習課

〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号 TEL. 0725-33-1131(代表)

泉大津市公式WEBサイト▶

